

基礎教養入門

- 一年生前期の演習です。小説や学術論文を読み、**自分の言葉で** 発表や議論をすることを目的としています。特定の本を取り上げ、その背景や周辺情報について文献調査を踏まえた書評レポートの執筆を最終的な課題とします。
- スケジュール（2008年度前期の例） 4/9顔合わせ、4/16『もの食う人びと』、4/23（補講『猫の事務所』）・30全学行事、5/7休講、5/14新聞記事発表、5/21文献リスト提出・[詩を読む](#)、5/28・6/4・11新聞記事から発表、6/18映画「ダーウィンの悪夢」、6/25・7/9・16関連図書発表（7/2全学行事）、7/23岩手牧場見学
- 書評レポートのトピック：B S E、鳥インフル、食の安全、食品偽装、死刑、自殺、太陽系第9惑星、高速道路、表現の自由、非正規雇用、少子化

学の世界入門

- 「学の世界入門」は一年生後期の演習です。内容は基本的に教員任せ、私はレポートを書いてもらうことにしました。まず興味ある新聞記事を切り取って、発表することから始め、文献の調べ方や「自ら問いを立て、仮説を検証する」という論文構成の練習をしました。
- 受講生が扱ったテーマ（2007年度後期の例）：地域の医師不足、育児休暇、臓器移植、バイオ燃料、地球環境、ODA、コンビニ業界、消費税、政治資金規正法
- おそらく一年かけるべき内容を半年でやってしまったので、学生はついてくるのがしんどかったかもしれない。「問いを立て、仮説を検証する」という課題の意味は全員が理解したが、ほとんどが論証の手前までしか至っていなかった。論証をするための材料集め（新聞記事や関連図書の収集）への努力は個人間でかなり差が出た。私の指導の仕方には反省点が多かったが、理解力や文章力の伸びには目を見張るものがあった。

文献検索のためのツール

- [OPAC図書館蔵書検索](#)
- [文献検索データベース](#)（学内用）
- [Google Scholar](#)

- 以下、演習の過程で考えたこと。

[starting over 演習の目的](#)（2007.10.03）
[一年生演習のためのメモ](#)（2007.11.21）
[論文執筆のヒント：最終回配布資料\(doc\)](#)（2008.01.30）
[自分で問いを立てる](#)」（2008.02.05）

[模倣から始める](#)（2008.04.09）
[詩を読む](#)（2008.05.22）
[私家版 書評の書き方](#)（2008.07.14）